

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15					3.0
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.50					
2 界壁遮音性能		3.0	0.50					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-					
1.3 吸音		3.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.60					
2 外皮性能		3.0	0.40					
3 ゾーン別制御性			-					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.6</b>	0.25					3.6
3.1 昼光利用		4.2	0.30					
1 昼光率	保育室は園庭側に大きな開口部を計画し昼光利用に配慮。 保育室(5歳)の昼光率 2.65、保育室(1歳)の昼光率 3.1	5.0	0.60					
2 方位別開口			-					
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策	深い庇のほか、カーテンを設置しグレア対策及び昼光制御を行う	4.0	0.30					
1 昼光制御		4.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25					4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	規定のある全建築材料にF☆☆☆☆を採用、VOC配慮品を全面的に採用	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-					
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.8</b>	0.40					3.8
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40					
1 広さ・収納性			-					
2 高度情報通信設備対応			-					
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	保育室は屋根の形状を活かし斜め天井とし平均天井高3.1m以上確保	4.0	0.50					
2 リフレッシュスペース			-					
3 内装計画	木質化を図ると共に、0・1歳児室はクッション性のあるコルクフローリングを採用	4.0	0.50					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	清掃がしやすい位置に掃除用流し、掃除用具入、電源を計画	4.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.5</b>	0.30					3.5
2.1 耐震・免震		3.8	0.50					
1 耐震性	建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する	4.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房ダクトにステンレス製を採用	4.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩化ビニル管(排水):B 塩ビライニング鋼管(給水):B ステンレス鋼管(給湯):C。Eは不使用。	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20				
	3	電気設備	2.0	0.20				
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20				
	5	通信・情報設備	3.0	0.20				
3 対応性・更新性		敷地内行政無線機設置有	4.0	0.20	-	-		
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		3.1	0.30	-	3.1		
	1	階高のゆとり	3.4	0.30	-	-		
		2	空間の形状・自由さ	3.0			0.60	
	3.2 荷重のゆとり		耐震壁、PSをコンパクトに的確に配置し、空間の形状・自由さに配慮	4.0			0.40	
	3.3 設備の更新性			3.0			0.30	
	1	空調配管の更新性		3.0			0.40	
		給排水管の更新性		3.0			0.20	
		電気配線の更新性		3.0			0.10	
		通信配線の更新性		3.0			0.10	
		設備機器の更新性		3.0			0.20	
		バックアップスペースの確保		3.0			0.20	
	Q3 室外環境(敷地内)			-			0.30	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		山を背に勾配屋根を広げた落ち着いた外観。	4.0	0.40	-	4.0		
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	3.5		
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	既設の記念碑を公園・緑地部に移設し歴史、地域との繋がりに配慮	4.0	0.50	-	-		
	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.4		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.8		
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.56	4.0	0.20	-	4.0		
2 自然エネルギー利用		保育室北側にハイサイドライト、廊下に中庭を計画し採光・通風に配慮	4.0	0.10	-	4.0		
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.76 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	4.0		
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.0	1.00	-	-		
		集合住宅の評価(3c)	-	-	-	-		
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0		
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
		集合住宅の評価	-	-	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-	-		
	運用管理体制		-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.1		
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4		
1.1	節水	節水コマ採用に加え、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-		
	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
1.2	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	3.1		
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		グリーン購入法特定調達品目である再生砕石を路盤材として利用	3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄下地+仕上材(断熱はグラスウールを使用)のため	4.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0		
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.3		
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出率=87%	3.5	0.33	-	3.5		
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1		
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-		
	廃棄物処理負荷抑制	送迎に必要な駐車場を確保。給食搬入のためのサービスヤードを計画 屋根扉付のゴミ置場計画。多種分別回収がスペース確保。集団回収実施。	4.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
	振動		-	-	-	-		
	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
	砂塵の抑制		-	-	-	-		
	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」の項目を過半満たしている。公告物照明なし	5.0	0.70	-	-		
	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		